

「ご当地グルメによる  
食の観光まちづくりについて」  
B-1 グランプリ横手大会レポート

2009年10月1日

フードツーリズム研究グループ

大阪観光大学 尾家建生

## 1. B-1グランプリについて

- 2006年2月 第1回大会 八戸市(青森県)  
出展:9、来場者:17,000人
- 2007年6月 第2回大会 富士宮市(静岡県)  
出展:21、来場者250,000人
- 2008年11月 第3回大会 久留米市(福岡県)  
出展:24、来場者203,000人
- 2009年9月 第4回大会 横手市(秋田県)  
出展:26、来場者:262,000人

## 2. 主催団体

### ●B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会 (通称：愛Bリーグ)

- 設立：第1回B-1グランプリの出展団体が中心になって2006年7月に設立された。
- 理念：B級ご当地グルメで、地域から日本を元気にする。
- 2007年11月に「愛Bリーグ憲章」を制定。
- 正会員：33団体、準会員：8団体（09年7月）
- 役員：会長 渡辺英彦、副会長 豆津橋・田村

### 3. 横手大会の様様

- サークルKにて前売券を購入(1000円)
- 当日、会場にて食事券(100円×10枚)に交換
- 出展の各ブースに並び、食事券で食べ物を買う(300円・400円・500円)
- 会場は2か所に分かれ、シャトルバスが運行(所要約15分)
- 使った割箸を投票箱に入れ、グランプリを決める。
- ステージでは出場団体の紹介とPRが行われる。
- 会場は人の波で埋まり、大変な盛り上がり！

●横手市：人口105,000人（合併前41,000人）

秋田県南東部、横手盆地のほぼ中央に位置する。県内有数の豪雪地帯で、2月15,16日には伝統的ななかまくら祭が催される。



## ● グランプリ & 来場者数

- ゴールドグランプリ-横手やきそば  
シルバーグランプリ-八戸せんべい汁  
ブロンズグランプリ-津山ホルモンうどん  
4位-あいがけ神代カレー  
5位-厚木シロコロ・ホルモン  
6位-すその水ギョーザ  
7位-黒石つゆやきそば  
8位-みしまコロツケ  
9位-各務原キムチ鍋  
10位-富士宮やきそば
- 来場者数:1日目105,000人、2日目157,000人  
計 162,000人

## 4. 参加団体 (1) 設立年

西暦	設立団体名	B-1グランプリ
2000	富士宮やきそば学会	
2001	横手やきそば暖簾会	
2002	上州太田焼きそばのれん会、静岡おでんの会	
2003	八戸せんべい汁研究所、鳥取とうふちくわ総研、小倉焼うどん研究所、久留米やきとり学会	
2004	高砂にくてん喰わん会	
2005	浜松餃子学会、奥美濃カレーP実行委員会、厚木市商店会連合会街づくり（07年厚木シロコロ・ホルモン探検隊）、キムチ日本一の都市研究会、津山ホルモンうどん研究会、神代地域活性化推進協議会、青森おでんの会	
2006	富良野オムカレー推進協議会（02年食トラ研究会）、姫路おでん探検隊（07年姫路おでん普及会）	第1回大会（2月八戸） 愛Bリーグ設立
2007	すそのギョーザ倶楽部、大月市おつけだんごの会、佐伯ごまだしの会	第2回大会（6月富士宮）
2008	みしまコロツケの会	第3回大会（11月久留米）
2009	登米・油麩丼の会	第4回大会（9月横手）

## (2) B級グルメの推進主体

事業体	B級グルメ
市民グループ	浜松餃子、厚木シロコロ、登米・油麩丼、八戸せんべい汁、姫路おでん、富良野オムカレー（北海道じゃらん）
まちづくり団体	小倉焼うどん、奥美濃カレー、富士宮やきそば、津山ホルモンうどん
食産業組織	青森おでん、佐伯ごまだし、上州太田焼そば、黒石やきそば、大月おつけだんご、静岡おでん
商店街組合	高砂にくてん
観光協会	袋井たまごふわふわ
行政主導	みしまコロッケ
コンソーシアム	神代カレー（地域活性化推進協議会）
産学官	各務原キムチ鍋（姉妹都市）

※実際には推進主体が単独の場合は少なく、それぞれの形成に独自のプロセスがある。



## 5. 出展料理の種類

種類	出展料理
焼きそば	横手焼きそば、上州太田焼きそば、黒石つゆ焼きそば、富士宮焼きそば
うどん	小倉発祥焼うどん、佐伯ごまだしうどん、津山ホルモンうどん
おでん	青森生姜味噌おでん、姫路おでん、静岡おでん
カレー	奥美濃ツインカレー、富良野オムカレー、あいがけ神代カレー
丼	登米・油麩丼
餃子	浜松餃子、すその水ギョーザ
焼き肉類	厚木シロコロ・ホルモン、久留米やきとり
汁物	八戸せんべい汁、大月おつけだんご、各務原キムチ鍋
揚げ物	行田ゼリーフライ、みしまコロッケ
その他	お好み焼（高砂にくてん）、練りもん（鳥取とうふちくわ膳）、卵料理（袋井宿たまごふわふわ）

## 6. 参加都市の分布と規模

### (1) 地域別参加数

- 東海・中部 9
- 東北 6
- 関東、九州 各3
- 近畿、中国 各2
- 北海道 1
- 北陸、四国 0

### (2) 都市規模(人口)

- 30万人～100万人 6
- 20万～30万人 3
- 10万～20万人 6
- 5万～10万人 6
- 2万～5万人 5

## 7. B級グルメ推進の利点

- (1) 食はまちづくりのテーマとして住民に浸透しやすく、観光要素が大きい。又、都市規模にかかわらず、取り組みが可能。
- (2) 食は地域の個性をアピールしやすく、マーケットへの訴求が比較的容易である。
- (3) 食は話題度が高く、メディアの関心を引きやすい。また、各種イベントに出展しやすい。
- (4) 食産業は地域の生産者、食品加工、商業、観光のネットワークを可能にし、6次産業を創る。
- (5) 食産業は大規模なハードを必要としないため、少ない予算で地域活性化が可能である。
- (6) 食産業はコンビニ弁当、インスタント食品、通信販売、土産品、全国の百貨店・スーパーへの販売拡大が可能である。
- (7) 食育、地産地消につなぐことができる。



地域ブランド・食文化・新産業の創造

# まとめ

## <今後の予測>

- B-1の参加取り組み団体は第2次のご当地グルメブームで増加を続ける。
- 2015年のB-1グランプリ第10回大会は東京ドームで開催され、参加団体は50を超える。
- 「愛Bリーグ」はご当地グルメまちづくりの強力な推進母体となり、地方の外食産業の新しい形態を生み出す。

The END